

親子で絵本を...



読み聞かせのコツ

21日開始

H22.5.19 さくら幼稚園 園長 片岡大助

週末、お母さんに絵本を読んでもらおうと、心をふくらませながら自分で選んで借りて持ち帰るといのが、長い間続けてきたさくら幼稚園の“親子読書活動”です。

親(大人)が読み聞かせるのが、ポイントです。

子供が字を読めるから読ませる、というのではなく、親が読んであげて子供が楽しんで聞くという関係を大事にしたいのです。それが、のちのち子供が自分で学習する力を育むだけでなく、読書の習慣づけになるのです。

このことを理解され、次の読み聞かせのコツをお読みの上、“一冊でも、家庭図書館”の楽しい雰囲気を作って下さい。

絵本は、翌週初めに忘れずに返却してください。

ゆっくり原文を忠実に読んであげる

耳から入ってくる言葉を理解しながら、子供は落ち着いて物語をたどることが出来ます。また、読み手が物語を創作したり、原文を変えたりして読まないようにすることも大切です。



絵をじっくり見られるよう 間をとる

文章以上に、絵がお話しを語っているのが「絵本」です。読み手も(父母)一緒にゆっくり絵を見て楽しめたら、いいですね...

上手下手にこだわらず、まず読む

登場人物ごとに 声を使い分けるなど、必要ありません。絵本を見て、自然に湧き上がってくる感情のままに 声を出していけばいいのです。読んでくれる父母の声が心をとらえるのです。何よりも、子供が楽しんでいるかどうかを見守りながら、読んであげられればいいと思います。就寝しながらの読み聞かせ、または語り聞かせもよいのではないのでしょうか。